

報道関係者各位

## 細菌性赤痢の集団発生の終息について

昨年12月4日に酒田市内で発生しました細菌性赤痢の集団発生については、2月5日をもって、感染拡大が終息したものと判断しましたのでお知らせします。

なお、インフルエンザや新型コロナウイルスなど感染症全般の予防のため、手洗いの励行等について周知くださいますようお願いいたします。

### 1 12月4日に発生した細菌性赤痢の集団発生の概要について

(1) 累計患者数：28名（患者は全員酒田市在住）

- ・うち入院者数：4名（4名とも退院）
- ・患者内訳：保育所園児14名、家族12名、その他2名

性別	幼児	小学生	中学生	高校生	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	合計
男	5	3		2				2	12
女	9	1		2			2	2	16
計	14	4		4			2	4	28

※ 10歳代は小・中学生及び高校生を除く。

(2) 累計感染家族数：18家族 ※1名でも1家族として計上

### 2 感染の原因について

- ・庄内保健所の一連の調査の結果、保育所における食中毒の可能性は極めて低く、保育所内を中心とする経口・接触感染により感染が拡大したものと判断しました。
- ・保育所の園児が細菌性赤痢に感染するに至った経路については、患者及びその家族等の海外渡航歴はなく、保育所外での細菌性赤痢患者との接点は確認できなかったことから、特定には至りませんでした。

### 3 終息の判断について

最終患者発生日である令和元年12月25日から38日を経過（※）したことや、庄内保健所における患者や家族等の経過観察の状況から、2月5日をもって、細菌性赤痢の集団発生については感染拡大が終息したものと判断しました。

※ 細菌性赤痢の通常排菌期間である28日間の末日を患者と接触する可能性がある最終の日とし、これに一般に感染症集団発生「全体の」観察期間として望ましいとされている「潜伏期間（細菌性赤痢は5日）の2倍」である10日間を加えた38日を目安とした。

### 県内細菌性赤痢発生状況（患者数）

平成31年・令和元年累計	29名
令和2年累計	1名

問合せ先	山形県健康福祉部健康福祉企画課 薬務・感染症対策室 室長補佐 庄司 栄一 TEL: 023-630-2292
報道監	健康福祉部次長 泉 洋之